

生活クラブ運動グループ
1980年代

添加物
環境ホルモン
放射能
保育
働き方

国内自給率
の低下

食べもの世界も
どんな問題が
出てくるかね
心配...

食べもの
他にも...
ほんとはね
地域には
いろいろな問題が
いっぱいだよ!

働きたい
思ってる...
でもね
スーパーの
総菜部
合成洗剤で
洗いの
添加物
だらけの
お弁当作り

1984年
碓・板橋・町田や
各配送センターに
続々とワーカース・
コレクティブ発足!

1983年
生活クラブ・東京
第15回通年総代会にて
「雇われない
新しい働き方を
始めよう!」
地域に必要な
事業を
立ちあげよう!

新しい働き方!
ワーカース・コレクティブを
結成しよう!!

最初の3年間は...

配送センターの
受託業務からスタート!!

その後

組合員作業
配付物の
組合
申し込みの
集計など

弁当・総菜
ワーカース

おいしい!

安心安全な
食事が
したい!

食材はちろん
消費材で!

配食サービス

助かるよ
おまたせ
しました

1人の食事を
作るのが
難しい!

製造販売ワーカース

素材も
あきらま
うか!

安心なパンや
お菓子が
ほしい!

続々誕生!

個別配送が
増えて大変!
人手が
ほしい!

さまざまな
ニーズに
応え...

配送
ワーカース・轍

生活クラブ

日々の
デポ業務の
担手が
ほしい!

フローアー
ワーカース

少しの間
母の面倒を
みてほしい!

たすけあい
ワーカース

生活クラブ・東京とブロック単協

生活クラブは、北海道から関西までの21都道府県に33ある生活協同組合（生協）で、組合員数は約40万人。そのうち東京の組合員数は約8万7千人（2019年11月）になる。本来生協は都道府県単位で事業を行なうものであり、かつては、東京も全体で1つの生協だった。規模が大きくなって、組合員1人ひとりの声を運営に反映できるようにと連合体としての生活クラブ・東京を残しつつ、4つのブロック単協（23区南生活クラブ、北東京生活クラブ、多摩きた生活クラブ、多摩南生活クラブ）を創立した。

まちと組合員活動

各ブロック単協の組合員は、住んでいる地域の「まち」に所属し、拡大や利用、組合員間や生産者との交流、学習会などさまざまな活動を行なう。2019年現在、まちの数は54。生活クラブの消費材は、その多くが組合員と生産者が信頼関係を培ってきたオリジナルの製品である。そのため、生産の背景にある問題を理解し、市場にない価値を感じることができる仲間づくりが必要になってく

各地で発足した運動グループが自治体ごとに組織!

生活クラブ運動グループ 地域協議会を結成!



2012年 さらに東京の中に新たな機能が生みだされました! 2001年

生活クラブ運動グループ・インクルーシブ事業連合設立!

21世紀型地域機能づくり構想

市民版地域福祉 計画づくり支援

だれもが安心して暮らせるまちを描く

人材育成のフォーラムや見学ツアーなども開催!

インクルーシブ事業 (助成)事業

地域福祉事業や活動を行なう団体に助成!

事業の立ちあげ 事業の継続

(会員団体)
生活クラブ・東京、NPO法人アピリティクラブたすけあい、東京ワークス・コレクティブ協同組合、東京・生活者ネットワーク、社会福祉法人 悠遊、認定NPO法人 まちぽっと、東京コミュニティパワーバンク、NPO法人市民シンクタンクひと・まち社、福瑞まちづくりNPOエコマッセ

農業 農作業受託 ネットワーク 特定非営利活動法人 **たがやす**

教育 NPOコミュニティスクール **まちデザイン**

市民バンク 東京コミュニティパワーバンク

環境 環境まちづくりNPO **エコメッセ**

支援活動 NPOコミュニティファンド **まち・未来 (現・まちぽっと)**

これからも地域の暮らしを豊かに!
そして、地域を越えた機能と連帯を
広めていこう!



生活を自治する

生活クラブは、組合員が必要とする消費材を組合員自身の手で生産者とともに生み出してきた。しかしながら、生活クラブの事業としては難しい分野や、行政や一般のサービスではカバーしきれない分野もある。そうした課題を組合員自らの手で取り組んでいったのが、ワークス・コレクティブやNPO団体などさまざまな市民事業だ。生活クラブ運動を広げていく仲間として生活クラブ運動グループという。現在東京には、お弁当や食品の製造、生協委託業務、カフェ、資源回収、保育、たすけあいなど180以上の運動グループが地域で活躍している。また、地域の組合員組織である「コミュニティ」も防災・減災・子育て・見守りなど多彩な互助機能を創りだしている、個人が主人公となり生活を自治する取組みが広がっている。

る。まちの活動は、地域に生活クラブの運動を広め継続させていく最も身近で自律的な活動である。